

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	衛生学・公衆衛生学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	大塚 ゆき	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	衛生学・公衆衛生学が予防医学として発展してきた歴史や、個人の健康と公衆衛生が相互に関連しあっている仕組みと意義について学習する。	
到達目標	健康の保持増進と生活、公害、産業保健、精神保健、母子保健、生活習慣病、感染症、消毒法、疫学、保健統計の説明ができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 32時間
	オリエンテーション	1
	第1章 衛生学及び公衆衛生学の意義	2
	第2章 健康の保持増進と生活	13
	第3章 生活環境と公害（社会的環境因子と健康を除く）	14
	総括的評価（中間・期末試験）	
	総括的評価の解答解説	2
	後期計 (14週)	後期計 28時間
	第4章 産業保健	4
	第5章 精神保健	2
実務経験の有無 その活かし方	第6章 母子保健	2
	第7章 生活習慣病と老人保健（介護保険を除く）	4
	第8章 感染症対策	4
	第9章 消毒法	4
	第10章 疫学	3
	第11章 衛生統計と人口統計	3
	総括的評価（中間・期末試験）	
	総括的評価の解答解説	2
	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。進捗状況によっては、授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	すべてを暗記しようとするとても大変な科目です。大事な箇所については授業中に強調します。自己学習の時間を取り、わからない箇所を自ら探し、質問ができるように努めることをおすすめします。	
使用教科書	疾病の成り立ちと予防Ⅰ（衛生学・公衆衛生学） 改訂10版 一幡良利 編著 薩田清明・高橋昌巳 著 桜雲会 2025年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学各論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	本科目は主に内科疾患を中心に疾患の概要・病態生理・成因・症状・検査・治療法について学習します。	
到達目標	①施術を行うために必要な疾病について体系的・系統的に理解することができる。 ②施術において適応及び禁忌の判断が適切にできるようになる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 48時間
	ガイダンス	1
	第3章 循環器疾患	13
	第4章 呼吸器疾患	10
	第5章 消化器疾患	12
	第6章 代謝・栄養疾患	4
	第7章 内分泌疾患	6
	総括的評価 (中間試験・期末試験)	
	総括的評価の解答解説	2
	後期計 (14週)	後期計 42時間
	第8章 腎・泌尿器疾患	9
	第9章 男性生殖器疾患	2
	第10章 婦人科疾患	2
	第11章 血液・造血器疾患	8
	第12章 アレルギー・免疫異常	4
	第13章 精神・心身医学的疾患	3
	第14章 耳鼻咽喉科疾患	2
	第15章 眼科疾患	2
	第16章 皮膚科疾患	2
	第17章 感染症	6
	総括的評価 (中間試験・期末試験)	
	総括的評価の解答解説	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	教科書を精読し内容の理解に努めてください。過去の国家試験問題をお渡ししますので自分のペースで解いてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅲ（臨床医学各論） 第5版 日本理療科教員連盟理療教科用図書編集委員会 日本ライハウス 2022年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	リハビリテーション医学	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	石田 亮介・阿部 博明	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要なリハビリテーション医学の基礎的知識を施術に応用する能力と態度を修得する授業です。	
到達目標	障害を適切に評価し、その評価に応じた治療・訓練が選択できる。あはき施術で遭遇することが多い疾患に対して応用と実践ができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 32時間
	1 リハビリテーションの概要	5
	2 障害の評価	8
	3 リハビリテーション治療	8
	4 基礎運動学	8
	5 疾患別リハビリテーション (1) 脳血管障害	2
授業計画	期末試験 (筆記試験) 試験の解答解説	1
	後期計 (14週)	後期計 28時間
	5 疾患別リハビリテーション (1) 脳血管障害 (つづき)	3
	(2) 脊髄損傷	1
	(3) 脳性麻痺	1
	(4) 切断	1
授業計画	(5) 呼吸器疾患	1
	(6) 骨・関節疾患	4
	(7) 神経疾患	1
	介助演習	2
	模擬試験の解答解説・国家試験対策	13
	期末試験 (筆記試験) 試験の解答解説	1
実務経験の有無 その活かし方	有	理学療法士
	理学療法士として病院勤務の経験を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけではなく、運動学的な意義を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして課題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に課題を解決しましょう。	
使用教科書	生活と疾病ⅠA(リハビリテーション医学概論編) ※小冊子付き 著者:太田淳一郎 東京ヘルパー協会 2019年 生活と疾病ⅠB(リハビリテーション医学基礎運動学編) 著者:福光英彦 東京ヘルパー協会 2013年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	関係法規	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	近藤 大樹	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律及び、医療関係法規の基礎的知識について学習します。	
到達目標	施術者にとって必要な法的知識を習得し、法に則した業務を行うことができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 16時間
	オリエンテーション	1
	1 あん摩・鍼灸における法と制度の概要	1
	2 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律の概要	
	(1) 免許	4
	(2) 業務	7
授業計画	(3) 罰則	2
	前期期末試験	
	試験講評	1
	後期計 (14週)	後期計 14時間
	3 その他の関係法規	
	(1) 医療に関する法律	5
授業計画	(2) 社会福祉に関する法律	6
	年間の復習	2
	後期期末試験	
	試験講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	授業中に要点を強調して説明します。 自要点を中心に内容を整理して、問題演習に取り組むことをおすすめします。	
使用教科書	医療と社会(改訂第9版) 不破伸一 岡山ライトハウス 2026年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学臨床論Ⅰ（あはきの適応の判断を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では、臨床で遭遇する代表的な疾患に対して症状及び所見から病態を把握し、疾患の鑑別及びあはき施術の適否の判断と効果的な治療方法について学習します。	
到達目標	各主要疾患に対し、必要な診察及び治療の適否を判断、患者への説明ができる。効果的な施術と施術後の評価を行うことができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 48時間
	1 ガイダンスと東洋医学概論の復習	6
	2 治療論（総論、治療原則） (1) 理療施術の意義とその対象 (2) 診察の基本 (3) 治療計画の概要と理療治療の奏効機序	10
	3 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療 (1) 運動器系の主な症候・疾患（頸肩腕痛・肩こり・上肢痛・肩関節痛・肘関節痛・腰痛・下肢痛・股関節痛・膝関節痛など） （うち、あはきの適応の判断 10時間） *あはきの適応の判断	26
	4 国試対策（演習問題の実施・模擬試験問題の解説を含む）	4
	5 総括的評価（中間試験・期末試験） 6 総括的評価の解答解説	2
	後期計 (14週)	後期計 42時間
	3 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療 (2) 神経系の主な症候・疾患（錐体外路症状とパーキンソン病・四肢の運動麻痺・顔面麻痺・神経痛・頭痛・神顔面痛・睡眠障害・冷え・のぼせ・抑うつ状態とうつ病・認知症など） （うち、あはきの適応の判断 8時間） *あはきの適応の判断	30
	7 国試対策（演習問題の実施・模擬試験問題の解説を含む）	10
	8 総括的評価（中間試験・期末試験）	
	9 総括的評価の解答解説	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験(評価)を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。形成的評価として、各単元の終了時に問題演習を行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	この科目で習得する知識・技術は、すでに履修済みの解剖学、臨床医学総論、経絡経穴概論、東洋医学概論、理療臨床医学各論の知識を必要としますので、各科目の復習をしてください。また、授業の復習による知識の定着とともに、臨床実習などでの活用を通して、治療技術の向上を期待します。	
使用教科書	配布資料	
参考書/参考資料	臨床理療学（あはき師用東洋医学臨床論）改定第3版 オリエンス研究会 岡山ライトハウス 2026年	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（あはきの適応の判断を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では、臨床で遭遇する代表的な疾患に対して症状及び所見から病態を把握し、疾患の鑑別及びあはき施術の適否の判断と効果的な治療方法について学習します。	
到達目標	各主要疾患に対し、必要な診察及び治療の適否を判断、患者への説明ができる。効果的な施術と施術後の評価を行うことができる。	
授業計画	前期計 （16週）	前期計 0時間
	別紙	
授業計画	後期計 （14週）	後期計 0時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験(評価)を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。形成的評価として、各単元の終了時に問題演習を行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	この科目で習得する知識・技術は、すでに履修済みの解剖学、臨床医学総論、経絡経穴概論、東洋医学概論、理療臨床医学各論の知識を必要としますので、各科目の復習をしてください。また、授業の復習による知識の定着とともに、臨床実習などでの活用を通して、治療技術の向上を期待します。	
使用教科書	配布資料	
参考書/参考資料	臨床理療学（あはき師用東洋医学臨症論）改定第3版 オリエンス研究会 岡山ライハウス 2026年	

(別紙) 令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（あはきの適応の判断を含む）	
前期の授業計画	前期計（16週）	前期計 32時間
	1 ガイダンスと東洋医学の復習	6
	2 スポーツ医学と理療施術（野球肩・テニス肘・ジャンパー膝・ランナー膝・シンスプリント・下腿コンパートメント症候群など） （うち、あはきの適応の判断 2時間） *あはきの適応の判断	8
	3 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療	
	(1)耳鼻科・眼科・歯科疾患の主な症候・疾患（鼻閉・鼻汁・めまい・眼精疲労・耳鳴と難聴歯痛など） （うち、あはきの適応の判断 1時間） *あはきの適応の判断	4
	(2)呼吸・循環器系の主な症候・疾患（咳と痰・呼吸困難・動悸・胸痛・高血圧・低血圧・動脈硬化など） （うち、あはきの適応の判断 2時間） *あはきの適応の判断	5
	(3)消化器疾患の主な症候・疾患（食欲不振・悪心・嘔吐・腹痛・排便異常など） （うち、あはきの適応の判断 2時間） *あはきの適応の判断	5
	4 国試対策（演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む）	2
	5 総括的評価（中間試験・期末試験）	
	6 総括的評価の解答解説	2
後期の授業計画	後期計（14週）	後期計 28時間
	2 疾患の鑑別とあはきの適応の判断及び症候別治療	
	(4)泌尿器科・婦人科系の主な症候・疾患（排尿障害・勃起障害（ED）・月経異常・更年期障害など） （うち、あはきの適応の判断 1時間） *あはきの適応の判断	4
	(5)皮膚科の主な症候・疾患（脱毛症・肌荒れと発疹など） （うち、あはきの適応の判断 1時間） *あはきの適応の判断	4
	(6)全身症状と膠原病・代謝疾患（発熱・全身疲労と倦怠・肥満など） （うち、あはきの適応の判断 1時間） *あはきの適応の判断	4
	7 小児の症候・疾患 （うち、あはきの適応の判断 1時間） *あはきの適応の判断	2
	8 高齢者に対する理療施術（骨粗鬆症・ロコモティブシンドローム・認知症・サルコペニアとフレイルなど） （うち、あはきの適応の判断 1時間） *あはきの適応の判断	6
	9 国試対策（演習問題の実施、模擬試験問題の解説を含む）	6
	10 総括的評価（中間試験・期末試験）	
	11 総括的評価の解答解説	2

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床診察学（生体観察を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な医療面接と生体観察を含む身体診察による臨床推論の実際について学び、施術を適切かつ効果的に行う能力を習得します。	
到達目標	医療面接及び生体観察の知識と技術を理解し、説明・実践できる。	
授業計画	前期計 （16週）	前期計 16時間
	ガイダンス	1
	施術録（カルテ）	2
	問診（医療面接）	2
	頸部の診察	3
	肩関節の診察	3
授業計画	肘関節の診察	3
	復習	1
	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計 （14週）	後期計 14時間
	手関節及び手指の診察	3
授業計画	腰殿部の診察	3
	股関節の診察	3
	膝関節・下腿の診察	3
	復習	1
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前・後期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。適宜、確認問題等を実施します。進捗状況によっては授業計画が変更になる場合があります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	配付資料	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床取穴学（生体観察を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な取穴法を生体観察とともに学習します。 治療に必要な選穴法及び配穴法について学習します。	
到達目標	選穴法・配穴法の概念について説明することができる。 配穴法にあわせた取穴について理解することができる。 施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を習得している。	
授業計画	前期計（16週）	前期計 16時間
	ガイダンス	1
	取穴法の基礎（生体観察を含む）	4
	選穴法・配穴法の基礎（生体観察を含む）	2
	正経治療法（生体観察を含む）	6
	復習	2
授業計画	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計（14週）	後期計 14時間
	奇経治療法（生体観察を含む）	2
	太極治療法（生体観察を含む）	2
	中医学弁証による治療法（生体観察を含む）	1
授業計画	症状に対する選穴（生体観察を含む）	6
	復習	2
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前・後期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 適宜、確認問題等を実施します。 進捗状況によっては授業計画が変更になる場合があります。	
自己学習の進め方	既に履修済みの解剖学、経絡経穴概論の知識を必要とする科目です。各科目の復習をしてください。取穴方などを暗記するのではなく身体を使って学習しましょう。	
使用教科書	新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版12刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人 東洋療法学校協会 編 医道の日本社 2024年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	地域理療と理療経営	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	高橋 務	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な地域社会における理療の役割、医療・福祉のあり方、理療の経営に必要な知識を学びます。	
到達目標	社会保障制度について述べることができる。 施術所の開設準備に必要な知識と経営スキルを身につけることができる。 超高齢社会の中における理療の意義と役割を理解することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 16時間
	第1章 地域社会と理療	2
	第2章 少子高齢社会の現状と課題	2
	第3章 社会保障制度の体系	7
	第4章 理療業務と社会保障制度	3
	復習	1
授業計画	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計 (14週)	後期計 14時間
	第5章 理療経営の基礎	2
	第6章 理療経営の展開	8
	第7章 理療と就労	2
授業計画	復習	1
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前・後期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 適宜、確認問題等を実施します。 進捗状況によっては授業計画が変更になる場合があります。	
自己学習の進め方	授業に出てくる社会保障制度や社会保険制度は、毎年変わることがあります。テレビのニュースや新聞、インターネットなどで情報に触れ、関心を持ってください。	
使用教科書	地域理療と理療経営 第5版 著者:藤井亮輔・福田勉 東京ヘルシー協会 2023年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧臨床実習	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	実習	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師としての臨床に必要な知識と技能、リスク管理、臨床実習協力者への接遇等について学び、施術を安全かつ効果的に行う能力と態度を修得します。	
到達目標	あん摩マッサージ指圧の施術において、適応および不適応の鑑別ができる。また、衛生管理およびリスク管理を徹底し、臨床実習協力者に対して安全な施術を提供することができる。さらに、医療面接・身体診察を通じて病態を把握し、自ら治療方針を立案したうえで、効果的な施術を実践することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	
	オリエンテーション	3
	模擬臨床	3
	臨床実習協力者への施術	39
	形成的評価	3
	後期計 (14週)	
	臨床実習協力者への施術	39
	形成的評価	3
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期の学期末に「臨床実習評価ガイドライン」に従い評価を行います。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。各学期の中間期に施術技能を確認するための形成的評価を行います。単位習得の評価には含めません。	
履修上の留意点	日頃から頭髪や爪の手入れ等身だしなみに留意し、実習では清潔な白衣上下を着用してください。実習開始前までに衛生的手洗いを済ませ、ベッドにタオルシーツを敷く等準備をしておいてください。	
自己学習の進め方	実習の前日までに、担当する臨床実習協力者のカルテを確認し、施術の方針・内容について担当教官と打合せを行い、施術に必要な予習をしておいてください。	
使用教科書		
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	藤原 太樹・大塚 ゆき・高橋 務	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	180時間	
授業の方法	実習	
科目の概要 (授業科目の内容)	2年次までに習得してきた理療の知識・技術を応用して、医療面接や触診・徒手検査等により得られた情報から、はりきゅう施術の適応・不適応を判断する能力、適切な治療計画を立て、安全かつ効果的な施術を行う能力、施術や評価の結果をカルテに正確・明瞭に記録する能力、患者情報の守秘義務を遵守する人間性の獲得を目指します。	
到達目標	はりきゅう施術の適応・不適応を鑑別できる。 衛生管理、リスク管理を徹底し、安全な施術ができる。 医療面接→身体診察→病態把握→治療方針の立案までの流れを独力で行い、効果的な施術を実践することができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 96時間
	①オリエンテーション	3
	②模擬臨床	6
	③臨床実習協力者への施術	81
	④形成的評価	6
	後期計 (14週)	後期計 84時間
	⑤臨床実習協力者への施術	78
	⑥形成的評価	6
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期・後期の学期末に、別途配布する『臨床実習評価ガイドライン』に基づき、実習担当教官が評価を行い、その平均（小数点以下は切り捨て）を学期末評価とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点（小数点以下は切り捨て）です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	日頃から頭髮や爪の手入れ等身だしなみに留意し、実習では清潔な白衣上下を着用してください。実習開始前までに衛生的手洗いを済ませ、ベッドにタオルシーツを敷く等の準備をしておいてください。	
自己学習の進め方	実習前日までに、担当する患者様のカルテを確認し、治療の方針・内容について担当教官の承諾を受け、施術に必要な予習をしておいてください。	
使用教科書		
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧の歴史と理論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師として必要なあん摩マッサージ指圧の歴史と基礎及び理論について学びます。	
到達目標	あん摩マッサージ指圧それぞれの歴史や方法を知り、説明できる。 基礎理論や治効理論及びリスク管理を理解し、実習に活用できる。	
授業計画	前期計 (16週)	
	ガイダンス	1
	あん摩マッサージ指圧の意義と沿革	2
	あん摩の基本手技	5
	古法あん摩	4
	マッサージの基本手技	6
	指圧の基本手技	6
	あん摩マッサージ指圧に関連する治療法	4
	あん摩マッサージ指圧の臨床応用	3
	期末試験	
	期末試験 講評	1
	後期計 (14週)	
	リスク管理	6
	あん摩マッサージ指圧の治効の基礎	6
	あん摩マッサージ指圧の治療的作用	4
	あん摩マッサージ指圧の身体組織、器官への影響	5
	関連学説	6
	期末試験	
	期末試験 講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。 進捗状況によっては授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習して一連の流れを理解し、授業で示される要点をしっかりと覚えてください。	
使用教科書	基礎理学Ⅲ(新版理療理論) (初版第2刷) オリエンス研究会 岡山ライハウス 2025年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅうの歴史と理論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	鈴木 格・高橋 務	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義（遠隔）	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり師、きゅう師として必要な鍼灸の基礎及び臨床能力並びに歴史について学び、施術を適切かつ効率的に行う能力と態度を修得する授業です。	
到達目標	以下の内容を理解して説明ができることを目標とします。 古代医学と現在の刺法・灸法、リスク管理、鍼灸刺激と伝導・自律神経反射・鍼鎮痛機序、関連学説	
授業計画	前期計 (16週)	
	1 鍼の基礎と歴史	4
	2 基本的な刺鍼方法	3
	3 特殊鍼法	4
	4 灸の基礎	6
	5 灸法の種類	4
	6 鍼灸の臨床応用	6
	7 リスク管理	4
	8 期末試験（筆記試験）	
	9 期末試験の解答解説	1
	後期計 (14週)	
	10 鍼灸の治効理論	12
	11 関連学説	12
	12 期末試験（筆記試験）	
	13 期末試験の解答解説	1
	14 国家試験対策	3
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師免許
	あはき施術所での施術経験を活かし、実践を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	復習の時間を確保し、授業でまとめた要点を中心に知識の定着に努めてください。単に暗記するだけではなく、東洋医学的・西洋医学的な意味を繋げて内容の理解にも努めてください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして課題解決に努めてください。メールでの質問にも対応しますので、一緒に課題を解決しましょう。	
使用教科書	基礎理療学Ⅲ（新版理療理論）（初版第2刷） オリエンス研究会 岡山ライハウス 2025年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	課題研究	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	3年	
担当教官名	藤原 太樹	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	45時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験に必要な解剖学・生理学に関する知識を再確認し、問題演習を行います。	
到達目標	(1) 解剖学・生理学の国家試験頻出問題を解くことができる。 (2) 基礎科目の知識を活用し、臨床医学総論や臨床医学各論といった応用科目の関連問題を解くことができる。	
授業計画	前期計 (16週)	前期計 0時間
	別紙	
	後期計 (14週)	後期計 0時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	使用する国試過去問は、その正答のみならず、問題全体の解説をできるように取り組んでください。学習する中でわからないところは曖昧にせず、教科書を見直しして課題解決に努めてください。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版18刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄・伊藤隆造ほか 医歯薬出版 2024年 盲学校理療科標準教科用図書 生理学 第3版11刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編 内田さえ・原田玲子他著 医歯薬出版 2024年	
参考書/参考資料		

(別紙) 令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	課題研究	
	前期計 (16週)	前期計 30時間
前期の授業計画	ガイダンス	1
	解剖学 1総論	1
	解剖学 2骨格系	3
	解剖学 3筋系	3
	解剖学 4消化器系	2
	解剖学 5呼吸器系	1
	解剖学 6泌尿器系	2
	解剖学 7生殖器系	2
	解剖学 8内分泌系	2
	解剖学 9循環器系	3
	解剖学 10神経系	4
	解剖学 11感覚器系	2
	試験解説	1
	問題演習	3
	後期計 (14週)	後期計 15時間
後期の授業計画	生理学 1生理学の基礎	1
	生理学 2循環	1
	生理学 3呼吸	1
	生理学 4消化と吸収	1
	生理学 5代謝	1
	生理学 6体温	1
	生理学 7排泄	1
	生理学 8内分泌	1
	生理学 9生殖・成長と老化	1
	生理学 10神経	1
	生理学 11筋	1
	生理学 12運動	1
	生理学 13感覚	1
	生理学 14生体の防御機構	1
	試験解説	1
	問題演習	